

◆◆◆今津干潟保全再生事業 ニュースレター◆◆◆

みんなで守ろう! カブトガニのすみか!! (カキ殻拾い) を開催しました!

- ◆ 日時: 平成30年7月14日(日) 15:00~17:00 ◆ 会場: 今津干潟
- ◆ 目的: カキ殻を拾い、カブトガニ生息場の保全とカキ礁の適正管理を図る
- ◆ 参加者: 36名

開会

四所神社前休憩所北側の干潟に会場を設営し、開会式を行いました。開会式では参加各団体(すみよい今津をつくる会、九州大学他)の紹介や、作業手順・注意事項の説明を行いました。

また、猛暑の中で作業を行うため、熱中症対策として、こまめな休憩、水分・塩分補給をお願いしました。



カキ殻拾い

開会式の後、参加者全員で足場板を岸から沖のカキ殻回収ポイント周辺まで敷き、一輪車やソリ等の道具を運びました。

作業開始時点では潮位が高く、カキ殻回収ポイントまで参加者が入れませんでした。そのため、最初は胴長を着たスタッフがカキ殻を回収し、参加者は運搬、洗浄、土のう袋詰めをメインに行いました。潮が引いてからは、参加者もカキ殻回収ポイントに入り、熊手などを使ってカキ殻を回収しました。

各参加者は、暑さにめげずに奮闘し、多くのカキ殻を回収することができました。

また、作業中にはカブトガニを14個体みつけました。



閉会片付け

適宜、休憩を取りながら、約1時間カキ殻拾いを行いました。作業終了後は、足場板を回収しながら岸側に移動し、閉会式を行いました。

閉会式では回収したカキ殻の計量と記念撮影を行いました。今回のカキ殻拾いでは、土のう袋30袋、約300kgのカキ殻を回収することができました。



皆様 お疲れ様でした



今回のカキ殻拾いは、地元の各団体の協力により、猛暑にもかかわらず、多くの方に参加していただくことができました。また、協力しながら作業を行うことにより、各団体間の親睦を深めることができました。さらに、カキ殻回収中に複数のカブトガニ幼生を確認することができ、今津干潟の自然の豊かさを実感できるよい機会にもなりました。